

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月14日 更新

事務事業名		地域交通安全活動推進協議会運営支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	青木洋治
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	小山可愛
	基本事業	10	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款2	項1	目3	事業連番10042	法根拠	地域交通安全活動推進委員及び地域交通安全活動推進委員協議会に 関す 成果優先度評価結果 : ⑪ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・地域交通安全活動推進委員が相互に連携して組織的かつ効果的に活動できるよう支援するほか、関係機関・団体との連絡調整を行い、もって事故のない明るい社会づくりの貢献する。 ・道路交通法に基づき、公安委員会が委嘱した地域交通安全活動推進委員で組織する協議会が発足した。地域における交通安全活動のリーダーとして様々な交通に関する活動を推進することを目的としている。交通事故等の増加により、協議会の行う啓発事業もより活発になっており、市内においては、前照灯点灯運動や飲酒運転撲滅運動等を展開している。
【業務の流れ】	・協議会が行う全国交通安全運動に伴う活動、交通安全教育指針に基づく交通安全教育の推進、街灯活動の推進などへの支援 ・負担金の支出
【主な予算費目】	・負担金補助及び交付金・研修会旅費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO) ・全国交通安全運動に伴う支援活動 ・街頭啓発活動 ・年末年始の交通事故防止運動への支援活動		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・協議会が行う交通事故防止運動に伴う活動への補助
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:協議会主催事業参加回数	回	研修時の旅費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・地域交通安全活動推進協議会	人	→ア:地域交通安全活動推進委員数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・目的に沿って活動してもらう	人	→ア:協議会主催事業に参加した委員の延べ人数
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
・協議会の月間活動も22年度20件23年度23件と推進活動が増加しているので、24年度の成果指標の協議会主催事業に参加した委員の延べ人数を60人とした。		0

(2)各指標・総事業費の推移										
		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標		回 アイ	20	23	20	7	10	10	10	10
② 対象指標		人 アイ	5	5	5	5	5	5	5	5
③ 成果指標		人 アイ	60	70	60	68	70	70	70	70
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	100	100	100	100	116	116	116
	(A) 事業費計	千円	100	100	100	100	116	116	116	116
		(A)のうち指定経費	千円	100	100	100	100	100	100	100
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	2	3	2	3	3	3
延べ業務時間		時間	222	112	222	100	222	222	222	
(B)人件費計		千円	914	452	896	407	896	896	896	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1 014	552	996	507	1 012	1 012	1 012	116

事務事業名	地域交通安全活動推進協議会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事務局である大津警察署とより緊密かつ積極的な連携を図ることにより、啓発活動など協議会主催事業の増加が期待できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 委員への働きかけをより一層行うことで、協議会主催事業に参加する委員も増えてくる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 協議会へ支援する事業は、本事業だけである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の算出基礎（推進委員1名×20,000円）に基づき支出しており、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業参加に必要な人件費のみであるため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援事業であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 公安委員会による、地域の交通安全を推進するため事業への支援であり、行政で行なうべきである。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今後も、大津署や他関係団体とのより緊密な連携を図ることにより、活動推進の支援を行う。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 円滑に交通安全活動が行なえるよう、相互により緊密な連携を図る。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 なし																							